

横浜港港湾計画 一部変更



横浜港港湾計画 一部変更



【背景】

横浜港は、政治・経済・文化の中心であり、かつ巨大消費地でもある首都圏に位置し、広大な背後圏を支える国際貿易港として、東アジアにおける国際競争力の強化を図るため、港湾利用コストの低減やリードタイム短縮を達成するための施策を講ずる必要がある。

【対策】

コンテナターミナルの効率的な運営を図る。

計画変更の内容

【効率的な運営を特に促進する区域の指定】

本牧BC突堤コンテナターミナルの追加

水深 15~16m 1バース 350m

ふ頭用地面積

水深 13m 3バース 900m

48ha



効率的な運営を 特に促進する区域

